

不安が喜びへと変わるとき



町内の中学生を対象に、海外での生活を通じて、語学や異文化を学ぶことを目的に行われている「鬼北町人材育成ふるさと基金海外研修」。今年度は広見中学校3年坂井理子さん、清水健さん、高田汐里さん、土居麟太郎さん、松浦一輝さんの5人が参加しました。

参加者は8月16日から25日までの10日間、オーストラリアのダルビーに滞在。異文化を肌で感じたり、現地の人たちと交流をしたりと、日本では味わえない貴重な経験、発見をしてきた生徒たちに感想を聞きました。



(左手前から)清水健さん、土居麟太郎さん、松浦一輝さん
(右手前から)坂井理子さん、高田汐里さん

異国の家族の

優しさ感謝

広見中学校 坂井 理子

私がオーストラリアで一番感じたことは、自分の英語力の低さです。本場の英語に生で触れて、分からない単語があり、会話が止まってしまいうことが多くありました。しかし、ホストファミリーはそんな私に優しく話しかけてくれたり、ゆっくり話してくれたりして、とても助かりました。感謝しています。

英語をもっと勉強して、もう一度オーストラリアに行ってみたいです。この研修は、一生忘れることのできない研修になりました。



自己の成長を

日々実感

広見中学校 清水 健

僕はこの研修で一生忘れることのない思い出を作ることができました。

成田空港からブリスベンに向かう飛行機の中では、ドキドキと不安が入り混じっていました。しかし、現地に到着すると不安はなくなりました。コアラを抱っこするなど、現地では味わえない貴重な体験をすることができました。

ホストファミリーとのコミュニケーションでは、最初は何を言っているのかわかりませんでした。日を追うごとに分かるようになってきてとても嬉しかったです。現地で学んだことをこれからの生活に活かしていきたいです。

